

木

か

づ

い

10月は「木づかい推進月間」です。

森林は、地球温暖化防止、生物多様性の保全、土砂災害の防止、水源のかん養、保健休養の場の提供などの多面的機能を有しています。

これらの機能が十分に発揮されるには、多くの消費者や企業が間伐材等の木材を利用した製品を実際に購入し、森林整備に必要な資金が山へ環流されていくことが必要です。

つまり、木材利用の拡大は、「伐る→植える→育てる→収穫する→上手に使う」という好循環を促進し、国内の森林整備を進めるために必要不可欠なのです。

今回の特集では、木材を使用したさまざまな製品や建物、木づかいを推進する取組等について紹介します。

「木づかい」の意義と国の取組

林野庁では平成17年度から、広く一般消費者を対象に木材利用の意義を広め、国産材利用を拡大していくための国民運動として、「木づかい運動」を展開しています。

私たちの暮らしている日本の森林は、住宅の柱などの材料として使われる木材を生産するために植えたスギ・ヒノキといった人工林が4割程度を占めています。この人工林が本格的な利用期を迎えている中、手入れが行き届いていない森林もみられます。このような森林を放っておくと、幹も根も十分な成長ができなくなるだけでなく、地面まで光が届かないために、森林の下層植生が生えず、土壌がむき出しのままになってしまい、大雨が降った時には土壌が押し流されて山が荒れたり、下流の人々の生活を脅かしたりするような被害も出てしまうのです。

このように森林には、木材を生産する働きのほか、土壌を維持したり、水を蓄える働きがあります。さらに、森林は地球温暖化防止において重要な役割を担っています。これは、木々が光合成することによって、温室効果ガスである二酸化炭素を吸収して蓄えることにより、大気中の温室効果ガスを減少させることにつながるのです。

このような森林のもっている様々な機能を十分に発揮させるには、適切に手入れすることが必要です。林家の皆さんは、伐った木を売ることによって収入を得て、それを元手にして苗木を植え、森林の手入れを行っています。

このため、もしも私たちが木材を使わなければ、収入を得ることができなくなり、森林の手入れもできなくなってしまうのです。

元気な森(人工林)と農山村を育てるため、木を使う必要



木材を有効利用することにより、「伐る↓植える↓育てる↓収穫する」という森林のサイクルがうまく循環し、林業の生産活動も活発になり、森林のもっているさまざまな機能も十分に発揮されるようになるのです。伐つたら、植えて育てること、ちゃんと管理されている森林から生産される木材を使うことが重要なのです。

しかし、一方で、樹木の成長する早さには限界がありますから、もしも、それを上回るスピードで木を伐つていくと、最後には山に木がなくなってしまうでしょう。つまり、木材を使わなすぎてもだめ、使いすぎてもだめ、ということになります。日本の森林は、全体的にみると「使わなすぎでため」な状態になっています。

このため、木づかい運動では、ポスター等による広報活動や、先進的な木材製品の展示、国産材を使用した製品等に添付し国産材利用をPRする「木づかいサイクルマーク」の普及活動等を行い、もつと皆さんに木材を使つてもらおうと呼びかけます。その中でも特に毎年10月を「木づかい推進月間」とし、国をはじめ地方自治体や民間団体においても、様々なイベントや普及活動を行っています。また、近年では子どもから大人までを対象に、木材や木製品とのふれあいを通して木への親しみや木の文化への理解を深めて、木材の良さや利用の意義を学んでもらうための教育活動である「木育」の取組も広がっています。

さらに今年度より、木の良さや価値を再発見させる製品や取組について、特に優れたものを消費者目線で評価し、表彰する新しい顕彰制度「ウッドデザイン賞（新・木づかい顕彰）」を創設し、さらに木づかいの機運を盛り上げているところです。このウッドデザイン賞の記念すべき第一回目の表彰式は、今年の12月10日（木）東京ビックサイトで行われるエコプロダクツ展で開催されます。



木育の取組 木とのふれあいを通じて、木の良さを実際に感じる体験をする



木づかいサイクルマーク
木づかい運動に取り組んでいる380もの企業や団体の登録がある(平成26年度末時点)



様々な木製品 左/軽くて丈夫なスギの木馬おもちゃ(写真提供:ポプリの森)
右/寄木をろくろで挽き、豊かな食を引き寄せる器、ひきよせ(写真提供:ラ・ルース)



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD

ウッドデザインマーク
受賞作品にはマークの使用が認められ、受賞の成果をPRすることができる

詳しくはHPをご覧ください。
<https://www.wooddesign.jp>

宮崎県
日南市

地元の飢肥スギを生かしたまちづくり



飢肥杉製の積み木「日南キューブ」



飢肥杉バック

宮崎県日南市は、宮崎県の南部に位置し、農林水産業が盛んな人口約54,000人のまちです。面積の約80%が山林であり、江戸時代から続く飢肥林業発祥の地として、そして、昭和初期まで弁甲材として使用されていた飢肥杉の一大生産地として全国的にも知られています。

当市においては、「飢肥杉を生かしたまちづくり」を進めるため、市役所横断プロジェクトチーム「飢肥杉課（平成19年度～26年度）」を発足させ、飢肥杉PRや庁舎内の飢肥杉木質化などの取組を行ってきました。また、官民連携で構成する「日南飢肥杉デザイン会」

では、飢肥杉製家具などの「obisugi design（オビスギデザイン）」や飢肥杉製の小物類を中心とした「SUGIFIT（スギフト）」の商品開発・販売を通じ、飢肥杉の良さなどを積極的にPRしています。

平成26年8月には、職員提案による事業「しあわせSUGI！結婚祝福事業」を開始し、婚姻届を提出されたご夫婦に飢肥杉製フォトフレームを贈呈しております。また、本年1月に日本グッド・トイ委員会が主催する、「ウッドスタート宣言」を行い、乳児を対象に飢肥杉製の木のおもちゃをプレゼントする「赤ちゃん誕生祝い品事業」を4月から実施しています。さらに、教育委員会においては、新小学1年生に対して肥杉製の積み木「日南キューブ」を贈呈し、算数などの教育にも活用しています。

このように「婚姻・出生・入学」といった記念となる節目に飢肥杉製の製品を贈呈することで飢肥杉をはじめとした木製品の良さなどを感じてもらい、生活の中に積極的に取り入れてもらえればと考えています。



誕生祝い品「うごくぞー」



オビスギフォトフレーム

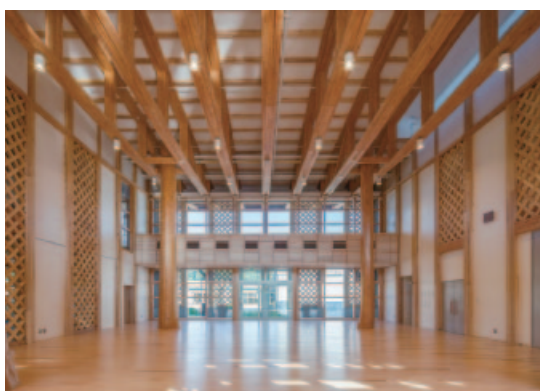
地元の材と職人の技が融合した木材のショールーム



平成26年9月に開庁した住田町役場新庁舎



2階の待合スペースも木材がたっぷり使われている



140年～80年のスギの丸太が来庁者を迎える「交流プラザ」は、様々なイベント等に広く開放

岩手県住田町は、岩手県東南部に位置し、豊富な森林資源と木材加工施設が整備されていることから「森林・林業日本一の町」を目指しています。当町では東日本大震災の教訓から、災害対策や防災の拠点の必要性の高まりを受け、町役場新庁舎を建設することとし、「人にやさしく親しまれる庁舎」、「環境にやさしく防災の要となる庁舎」、「住田町らしさを発信する庁舎」をコンセプトに、町のイメージを具現化する木造としました。

平成26年9月に開庁した新庁舎は、木造2階建て、延べ床面積約2,900㎡。地元産のスギの集成材を格子状に組み合わせたラチス耐力壁や、地元産のカラマツの集成材3本を組み合わせた屋根と梁が一体となったトラス梁、地元の気仙大工の匠の技によるスギ鍔張りの外壁、無節材のスギ板の内壁、サクラのフローリングなどに加え、スギ集成材を天板としたデスクやカウンターなどの木質のオフィス家具の導入により、木造公共建築物のモデルとなる建物、地元産木材と地元の職人の技が融合した木材のショールーム

となっております。

特に、町長室は、木造にふさわしい障子と地元産ヤマザクラのデスク、応接室は、障子に加え、スギ集成材の飾り壁、100年のスギ1枚もののテールなど、木にこだわって作りました。

エントランスホールの交流プラザには、80年～140年のスギ丸太の象徴木4本を配して来庁者を出迎え、様々なイベントスペースとして開放。200人を収容できる町民ホールでは、平成26年11月に第1回「全国木のまちサミット」を開催し、木材の利用促進を全国に発信しました。



木のぬくもりを感じる応接室

岡山県
西粟倉村

暮らし・森・つくる人をつなげる

株式会社西粟倉・森の学校が運営するみんなの材木屋(<http://zaimokume.com>)では、岡山県西粟倉村という95%が森で覆われた人口1,500人の小さな村から、個人向けに国産材木の販売、全国配送を行っています。百年生の森林づくりに取り組む西粟倉村をはじめ、周辺地域から生まれる間伐材を使い、床材や壁材といった内装材の製造販売をしています。また、「暮らし・森・つくる人をつなげる」をミッションに、たくさんの人に暮らしをつくる「ワクワク」を提供しています。

その中で生まれたプロダクトの一つが「ユカハリ・タイル」です。50cm角のタイルで、置くだけで簡単に無垢の木の床をつくることができます。大がかりな施工が不要で、原状復帰も容易なので、賃貸の住宅やマンション、オフィスなどで取り入れていただいています。

そして、ユカハリ・タイルやフローリング材をつくる過程で余ってしまった材料から生まれたのが「ヒトテマキット」です。型からパチッとはずして、

彫刻刀や紙やすりで自分の好きなかたちにけずって。みがいて。つくる。キットで、スプーンやフォークなどカトラリー類を中心に現在15種類を展開しています。

つくる楽しさ、喜びを感じられる豊かな時間を提供できるプロダクトを開発し、販売していくことで、地域の森林と都会の人々の暮らしをつなぎ、日々の暮らしの中で、木が広まっていくことで、森林が再生していくことを目指しています。



くつろぎの空間に



簡単に取り付けができるユカハリ・タイル



ヒトテマキット

イベント紹介

10月、11月に全国各地で開催される様々なイベントを紹介いたします。それぞれのイベントでは木工体験や地元で作られた木製品などが販売されています。お近くの会場に足を運んでみてはいかがでしょうか。

期間	都道府県	行事名	開催地及び会場名	主催等	電話番号
10月24日(土)	北海道	市政ウォッチングねむる(森林資源コース)の開催	根室市ネイチャーセンター等(根室市酪陽)	根室市	0153-23-6111
11月14日(土)	北海道	親子・住民ふれあいリース教室	胆振総合振興局森林室	胆振総合振興局森林室 胆振森林サポーター	0144-72-5122
10月25日(日)	青森県	東通村産業まつり	東通村体育館及び駐車場	東通村	0175-27-2111
11月7日(土)~11月8日(日)	青森県	「県産材フェア~森のめぐみ展~」	ハルポータルミュージアムはっち	三八・上北流域林業活性化センター	0178-23-3595
10月25日(日)	岩手県	西和賀薪ストーブ展示会	花巻農協西和賀農業団地センター内	西和賀町森林エネルギー利用促進協議会	0197-85-3410
10月31日(土)	岩手県	気仙スギまつり(陸前高田市産業まつりと併催)	総合交流センター建設予定地	気仙地方林業振興協議会	0192-27-9914
10月31日(土)~11月1日(日)	山形県	庄内森とみどりのフェスティバル2015	酒田会場	庄内森とみどりのフェスティバル実行委員会	0235-66-5537
11月6日(金)	山形県	第65回山形市植樹祭	ニュータウン周辺環境保全林市有地	山形市	023-641-1212
11月7日(土)~11月8日(日)	福島県	会津若松市地産地消まつり	会津若松市鶴ヶ城体育館	会津若松市(農林課)	0242-39-1254
10月31日(土)~11月1日(日)	福島県	林業祭・馬搬フェス	南会津町針生地区 ほしっぱの家	NPO法人 みなみあいづ森林ネットワーク	0241-64-5655
10月24日(土)~10月25日(日)	茨城県	茨城をたべよう収穫祭	砂沼広域公園(下妻市)	茨城県・下妻市	029-301-3894
10月25日(日)	栃木県	岩舟軽トラ市	いわふねフルーツパーク第2駐車場	栃木市(木工教室のみ)	0282-55-7790
10月25日(日)	栃木県	ゆめ!さくら博2015におけるチェーンソー目立て体験の開催	喜連川公民館(さくら市内)	さくら市林業振興会	028-681-1117
10月25日(日)	群馬県	親と子の木工広場	県立 ぐんま こどもの国	群馬県木材組合連合会	027-266-8220
11月29日(日)	群馬県	親と子の木工広場	桐生市新川公園	群馬県木材組合連合会	027-266-8220
10月25日(日)	埼玉県	木とのふれあいまつり	(株)東京木材相互市場 吹上市場	一般社団法人 埼玉県木材協会	048-822-2568
10月30日(金)~11月1日(日)	埼玉県	第27回木が香る秩父フェスティバル	秩父市 道の駅ちちぶ	木が香る秩父フェスティバル実行委員会	0494-24-7215
10月17日(土)	神奈川県	木工コンクール表彰式(スーパーハウジングフェア内)	横浜産貿センター	かながわ木づかい推進協議会	045-210-4332
10月17日(土)~10月18日(日)	静岡県	まるまる魚津親子木工教室	魚津市、海の駅蟹気楼	新川地区林業研究グループ協議会	0765-23-0111
10月17日(土)	富山県	とやま木と住まいフェア2015	射水市、富山県木材研究所	富山県、富山県木材組合連合会	0766-30-5101
10月18日(日)	石川県	輪島山里海まつり	マリンタウン	輪島山里海まつり実行委員会	0768-23-1141
10月26日(月)	長野県	カラマツ木育事業	小学校・村内製材所	川上村	0267-97-2121
10月17日(土)	長野県	南箕輪村育樹祭	南箕輪村大芝高原	南箕輪村	0265-72-2176
10月31日(土)~11月1日(日)	長野県	木の集い	飯田市内	長野県下伊那地方事務所	0265-53-0425
10月17日(土)~10月18日(日)	山梨県	山梨県林業まつり・森林のフェスティバル	小瀬スポーツ公園(甲府市)	山梨県林業まつり実行委員会	055-223-1652
10月24日(土)~10月25日(日)	岐阜県	森の木とのふれあいフェア	岐阜市(岐阜県庁芝生広場)	岐阜県	058-272-8487
11月8日(日)	愛知県	とよたものづくりフェスタ2015	豊田スカイホール	とよたものづくりフェスタ実行委員会	0565-43-3456
11月11日(水)~11月14日(土)	愛知県	日本木工機械展 ウッドエコテック2015	ポートメッセ名古屋	(一社)日本木工機械工業会	
10月24日(土)	三重県	みえ森林フェスタ2015鈴鹿自然まるごとフェスティバル	鈴鹿青少年の森・鈴鹿青少年センター(鈴鹿市住吉町中々大谷6744-1)	三重県	059-224-2627
10月25日(日)	三重県	尾鷲ヒノキふれあいフェスタ	尾鷲体育文化会館	尾鷲市林業振興協議会	0597-23-8224
10月25日(日)	京都府	木工教室	京都府木津川運動公園(城陽市緑化フェスティバル内)	山城eco木材供給協議会(事務局:京都府山城広域振興局)	0774-21-3450
11月7日(土)・12月6日(日)	京都府	グリーンウッドワークデイズ	竹内工務店内	京の山和人工房 嵯峨・木のこころ[風]	075-881-6868
10月18日(日)	大阪府	第11回木にふれよう平林祭り	平林テニスコート跡地	一般社団法人平林会・一般社団法人大阪府木材連合会	06-6685-6907
11月3日(火)	大阪府	木にふれよう♪森のママまつりin大阪	ATC	大阪府地域産材活用フォーラム	06-6538-7524
10月17日(土)~10月18日(日)	兵庫県	兵庫県農林漁業祭	明石市(県立明石公園)	兵庫県農林漁業祭実行委員会	078-341-7711
11月8日(日)	和歌山県	田辺農林水産業まつり	田辺スポーツパーク	田辺農林水産業まつり実行委員会	0739-26-9930
11月21日(土)~11月22日(日)	和歌山県	翔龍祭(林業まつり)	龍神ドーム	翔龍祭実行委員会	0739-78-0830
10月25日(日)	鳥取県	鳥取県中部地区木の住まいフェア	倉吉駅前広場	一般社団法人鳥取県木造住宅推進協議会	0858-26-3221
10月24日(土)	岡山県	第16回森林を考える岡山県民の集い	津山市大田・グルン北津山	森林を考える岡山県民のつどい実行委員会	0868-27-7150
11月3日(火)	広島県	第9回ひろしま「森の市」	広島市森林公園	市民参加の森林づくり実行委員会	082-845-4348
11月23日(月)	徳島県	とくしま森林づくりフェスタ	神山森林公園イルローザの森	とくしま森林づくり県民会議	088-621-2459
10月24日(土)~10月25日(日)	高知県	第11回高知もくもくランド2015	高知市中央公園	高知県/ 高知県木材普及推進協会	088-883-6721
11月3日(水)	高知県	第13回木の文化賞表彰式	高知県庁	高知県	088-821-4586
10月20日(水)~10月21日(木)	愛媛県	久万林業まつり	久万高原町	久万林業まつり実行委員会	0892-21-1111
10月19日(月)~10月23日(金)	福岡県	木づかい推進月間木材利用PR	市役所1階多目的スペース	福岡市	092-711-4846
10月18日(日)	佐賀県	第10回県産材祭り	佐賀県伊万里市、株式会社伊万里木材市場	一般社団法人佐賀県木材協会、株式会社伊万里木材市場	0952-23-6181 0955-20-2183
10月24日(土)~10月25日(日)	大分県	大分県農林水産祭	別府公園(大分県別府市大字野口原3018-1)	大分県	097-506-3833
10月31日(土)	熊本県	第21回水とみどりのふれあいスクール	八代市はたるの里公園	八代市みどり推進協議会	0965-33-4119
10月24日(土)~10月25日(日)	鹿児島県	第16回かごしま木材まつり(かごしまウッドフェスタ21)	かごしま県民交流センター	かごしま木材まつり実行委員会(事務局:県林材協会連合会)	099-260-5356
11月5日(木)~11月8日(日)	沖縄県	沖縄ウッドフェア	沖縄県久保田プラザハウスショッピングセンター	沖縄ウッドフェア実行委員会	098-877-8588